

年	回数	月	曜日	時間	課程	コース名	科目名	対象者	講師案 (敬称略)	所属等	弁理士会						
2017年	1	4	27	木	午後	ブレ	知財の重要性とその活用：14時～16時 オリエンテーション (相談会) 他：16時～17時	知財の重要性について、最近話題のわかりやすい事例を挙げて、知的財産はどう価値をもつのかについて説明する。知財ist研修受講予定者、および検討者対象。	飯村 俊明	ユアサハラ法律特許事務所 弁護士 (元知財高裁所長)							
	2	5	17	水		技術保護法 (産業振興法) 4日間	特許法、実用新案法 意匠法総論・各論、判例、演習	知財実務担当者として、本格的に「特許」に従事されている方。	高林 龍	早稲田大学 法学部・大学院法学研究科 教授	○						
	3	5	26	金													
	4	5	31	水													
	5	6	9	金													
	6	6	19	月		法律 (16日間・ブレ講義含む)	商標法・不競法 (識別法) 3日間	商標法、不正競争防止法総論・各論、判例、演習	知財実務担当者として、本格的に「特許」だけでなく、「商標」に従事し、「不競法」も扱う方。	今村 哲也	明治大学 情報コミュニケーション学部 准教授	○					
	7	6	26	月													
	8	7	3	月													
	9	6	16	金													
	10	6	23	金		著作権法 2日間	著作権法総論・各論、判例、演習	知財実務担当者として、本格的に「特許」「商標」に従事し、「著作権」も扱う方。	張 睿暎 (ちゃん いえよん)	獨協大学 法学部 法律学科 准教授	○						
	11	5	18	木													
	12	5	25	木													
	13	6	1	木													
	14	6	8	木		法律 5日間	知的財産権と民法 (2日間) (法学概論含む)	知的財産権と民法 (2日間) (法学概論含む)	知財実務担当者全般。	深井 俊至	ユアサハラ法律特許事務所 弁護士	○					
	15	6	15	木													
	16	6	30	金													
	17	8	1	火	午後												
	7	調整中		午後	国の施策 & 見学2回	知的財産基本法と日本の知財戦略 ～実務に役立つ最新情報満載、企業の知財戦略をどう展開していくべきか～	知財実務担当者として、国の施策について把握されたい方。	扇谷 高男	発明推進協会 研究所長	○							
	8	調整中		午前													
						知的財産高等裁判所見学、および裁判傍聴	法律課程受講者、ないし一括申込者	知財高裁見学。1時間半程度。									
						特許庁見学、大審判廷、出願情報の閲覧	法律課程受講者、ないし一括申込者	特許庁見学。1時間半程度。									
	18	7	5	水	実務 (8日間)	特許審査基準 (新規性・進歩性) ～事例を交え、審査基準を詳細に解説～	特許審査基準 (新規性・進歩性) ～事例を交え、審査基準を詳細に解説～	知財実務担当者として、「出願」から「権利化」までの流れを把握し、実践的に「特許」に従事されている方。	浅見 節子	東京理科大学教授 弁理士	○						
	19	7	12	水								出願権利化 4日間	特許審査審判中間手続き (意見書・補正) ～拒絶理由への対応、事例を挙げて考え方を学ぶ～	知財実務担当者として、「出願」から「権利化」までの流れを把握し、実践的に「特許」に従事されている方。	影山 秀一	影山特許事務所・所長弁理士 元特許庁審判部部門長	○
	20	7	19	水													
	21	7	26	水								特許活用 4日間	契約書作成の実務 (2日間) ～グループ演習を重視した戦略的知財契約の実際～	知財実務担当者として、権利取得後の「特許」活用、契約関係についても実践的に従事されている方。	石田 正泰	青山学院大学法学部特別招聘教授	○
	22	9	27	水	英文契約の基礎～予備的合意書、秘密保持契約書、ライセンス契約を理解してグローバル化社会で、知的財産権を適切に保護・活用するには～	向山 純子	日本アバイア株式会社 取締役 法務部部長 弁理士 米国ニューヨーク州 弁理士	○									
	23	10	4	水					企業に貢献する知的財産の活用 ～技術の本質を追求する能力～	青山 高美	メルコホールディングス(株)監査役 (株)ワイゼル顧問						
	24	10	11	水	訴訟 (7日間)	知的財産権と行政訴訟法～複雑な行政訴訟を理解し、審決取消訴訟の考え方を学ぶ～	知財実務担当者として、手続、活用のみならず、訴訟関係についても従事されている方。	安念 潤司									
	25	10	18	水					意匠権侵害訴訟～意匠について基本事項の確認から、訴訟に至るまで全般を学ぶ～	水野 みな子	青和特許法律事務所・パートナー弁理士、 元特許庁意匠審査官	○					
	26	10	25	水									特許権侵害訴訟の仕組と理論 (審決取消訴訟との関係性を含む) ～事例を挙げて訴訟の進行を理解する～	清水 節	知的財産高等裁判所 所長	○	
	27	10	31	火					商標、ブランド紛争処理法～商標、不競法のほかパブリシティ権をめぐる紛争を含めて～	三村 量一	長島・大野・常松法律事務所・弁理士 (元知的財産高等裁判所 判事)	○					
	28	11	7	火									損害賠償請求～特許権侵害による損害賠償請求の基本的考え方を学ぶ～	古城 春実	桜坂法律事務所・弁理士	○	
	29	11	17	金					事例研究 2日間 ～特許権侵害訴訟 (米国による特許権侵害訴訟との比較を含む) ～	村田 真一	兼子・岩松法律事務所・弁理士	○					
	30	11	29	水									海外 (4日間)	知的財産権と国際条約概論 ～パリ条約とTRIPS協定を中心として～	知財実務担当者として、国内だけでなく、海外への「出願」「管理」「訴訟」関係に従事されている方。	浅見 節子	東京理科大学教授 弁理士
	31	11	22	水	PCTと欧州特許制度の活用 ～欧州特許制度を有効活用するための知識・手段～	下道 晶久	青和特許法律事務所 弁理士 (元特許庁審判部部門長)	○									
	32	12	6	水					米国特許出願の実務と管理 ～複雑な米国特許システムについて、一日で体系的に解説～	服部 博信	中村合同特許法律事務所 弁理士	○					
	33	9	12	火	中国特許出願の実務と管理 ～中国現地代理人として実務上のノウハウも伝授～	雙田 飛鳥	北京銀龍知識産権代理有限公司 弁理士	○									
	34	9	20	水					創造 2日間	知財への取り組みにおける「創造」の役割と活用～開発者を支える「知財担当者の創造力」と、気づきを知財に変える「開発者の創造力」の事例と演習	技術者、研究者、開発者として、一通りの知財知識を必要とされている方。	籠原 裕明	全国知財・創造教育研究会 会長	○			
	35	9	26	火	情報検索基礎 (2日間) ～①特許検索の基本的な考え方、②特許検索のポイントと演習～	酒井 美里	スマートワークス(株) 代表取締役	○									
	36	10	3	火					情報分析手法 (2日間) ～①分析のデザインと考え方、②特許マップ作成演習と戦略分析～	野崎 篤志	ランダム I P 日本事業統括部長	○					
	37	9	7	木	経営戦略 4日間	R&D・標準化戦略と知的財産戦略～標準必須特許を巡る世界動向とIoT時代の知財の課題を検討する。	知財実務担当者として、経営戦略についても従事されている方、ないし、自社の知財戦略とは何かを模索されている方。	加藤 恒					三菱電機(株) 常務執行役 知的財産渉外部 部長	○			
	38	9	8	金					ブランドマネジメントと知的財産戦略～事業のためのブランド関連知財法の活用とアンブッシュ・マーケティング対応を中心に～	足立 勝	米国ニューヨーク州弁理士 (所属企業：アストラゼネカ株式会社)	○					
	39	10	13	金											特許管理と知的財産戦略～企業知財戦略をどう展開していくべきか～	別所 直哉	ヤフー株式会社 執行役員 (広報・法務・政策企画・公共サービス管掌)
	40	10	20	金					企業経営と知的財産戦略～オープン&クローズ戦略の勧め～	上柳 雅誉	上柳特許事務所 所長 弁理士 (元セイコーエプソン(株) 常務執行役・知的財産本部長)	○					
	41	12	1	金	特別企画では、9月に、IPMEN (IP Management Experts Network) によるシンポジウム開催を予定しております。「ゆうゼミ」では、知財ist研修の特長である双方向の研修スタイルを発展させて、参加型の討論形式の研修を行います。知財を意識しながら活躍している方々 (=知財ist) の、意見交換の場としてご活用いただければ幸いです。	岡本 清秀	神戸大学 客員教授	○									
	42	12	8	金					上柳 雅誉	上柳特許事務所 所長 弁理士	一橋大学大学院 (国際企業戦略研究科) 非常勤講師 弁理士	○					
	43	2	14	水	黒瀬 雅志	東京大学大学院情報理工学研究所 非常勤講師	○										
	44	2	21	水				扇谷 高男	発明推進協会 研究所長	○							
	45	3	7	水	調整中	回数実施予定	特別企画				○						
	46	3	16	金				調整中	回数実施予定	特別企画		○					
	47				調整中	回数実施予定	特別企画				○						
	48							調整中	回数実施予定	特別企画		○					
	49				調整中	回数実施予定	特別企画				○						
	50							調整中	回数実施予定	特別企画		○					

※○印の科目は、日本弁理士会の継続研修として申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として、1日あたり5.5単位が認められる予定です。

☆本カリキュラム一覧表は、2017年2月現在のものです。日程、および講師等は変更する可能性もございます。詳しくはWEBページにてご確認ください。